



雪化粧した鹿のモニュメント

提案された令和4年度補正予算の内容（一部抜粋）

キリン舎の改築に伴う、実施設計及び地耐力調査委託を実施

令和4年11月1日～令和5年2月28日検針分の水道料金の基本料金を免除



燃料費高騰対策として、ひとり親や高齢者などの生活弱者に対し、一世帯5000円を支給

住民税非課税の高齢者世帯等を対象に、一世帯1万2000円を支給

食材価格高騰に伴い、学校や保育所の給食の材料購入費を追加計上

議案審査特別委員会を設置・審査後、本会議において全会一致で原案のとおり可決

→ 主な議論の内容は3ページに掲載

9月30日に追加提案された令和4年度補正予算の内容

【提案された議案内容】

12歳以上の方を対象とした、オミクロン株対応2価ワクチン接種に向けた体制整備と実施に必要な費用を計上

付託

【議案審査特別委員会での主な議論の概要】

- ・ ワクチンの接種体制と今後のスケジュール
- ・ 罹患者のワクチン接種の必要性和希望する場合の接種間隔
- ・ 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種の安全性と有効性 など

定例会の概要

令和4年第5回定例会を9月5日から9月30日までの26日間の会期で開催しました。
令和3年度各会計決算をはじめ、令和4年度各会計補正予算、条例の改正などを審議したほか、18人の議員が一般質問を行いました。（2～3ページ参照）
議案はすべて、原案のとおり可決・認定しました。

コロナ対策関連予算などを審議・可決（9月定例会）

― 国会などへ意見書を提出 ―
意見書を可決し、国会や関係行政省庁へ提出しました。（左下図参照）
― 新たな陳情1件を付託 ―
「陳情第3号 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書の提出について」は経済文教委員会に付託し、閉会中継続審査を行うことに決定しました。

森林・林業・木材産業の持続的発展に向けた施策の充実・強化を求める意見書

― 要約 ―

- 1 適切な間伐と森林整備や、防災・減災対策の推進に必要な事業予算を十分に確保すること。
- 2 スマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化などによる木材の販路拡大や、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

意見書とは、議会の意思を意見としてまとめたもので、国会や関係省庁等に送っています



※意見書の全文はこちらをご覧ください



● 目 次 ●

定例会の概要	1
一般質問、議案審査特別委員会の審査概要	2～3
決算審査特別委員会の審査概要	4
本会議での討論、賛否の分かれた議案など	5
常任委員会等の動きなど	6



大塚 徹

議員
(市政)



新しい学校給食の下に実現子ども安全・安心、PTAの皆さんの安全・安心

質 今後、有機食材を活用しながら、どのように市長の公約のおいしい給食プロジェクトをすすめていくのか。

答 おいしい給食プロジェクトでは、地域で生産される豊かな農畜産物や加工品、生産者などとのつながりを生かし、十勝・帯広ならではの一手間をかけ、子どもたちの記憶に残る学校給食の提供に取り組む考え。食材の調達にあたっては、これまでも有機低農薬野菜を含めた地場産食材を優先的に購入しているが、今年度は地元企業と連携し、新たに地場産の有機大豆を使ったみその製造に向け検討を重ねており、実現すれば、みそ汁などへの活用が可能が広がると考えている。



林 佳奈子

議員
(自民)



政策維持と財源確保を

質 社会経済が不安定な中、市長は、自治体の経営者としてどのような考えに基づき政策を実行していくのか伺う。

答 不断の行財政改革はもとより、経済を含めた活力ある地域づくりを継続的に総合的にすすめる。

質 有効に税金が使われていると思う市民の割合の低下についての考えは。

答 使い道などが十分伝わっていないのが一つの要因と考えている。分かりやすい情報発信に努めていく。

質 自主財源確保のため、自治体クラウドファンディングを活用する考えは。

答 どのような案件が活用できるか調査検討していく必要がある。



椎名 成

議員
(公明)



高齢者の補聴器購入支援と不登校の児童・生徒への対応について

質 高齢者の難聴の早期発見や補聴器の購入支援の重要性は疑うところはないと思う。今後、認知症予防の取組みと合わせて考えていくことができないか。

答 様々な情報、他市の事例、国からの情報などを収集しながら、優先順位の中で考えていきたい。

質 不登校の児童・生徒について、学校に行かない選択をした子どもにも教育の場を提供する方法を考えてほしいとの声が強くなる。考えを伺う。

答 民間施設、NPOの取組みなどの状況を把握し、情報交換や連携を図るなど、不登校児童・生徒の多様な教育機会について考えていきたい。



大和田三朗

議員
(自民)



ライフステージに応じた歯、口の健康について

質 8020運動・口腔保健推進事業の一部事業の実施主体が市町村に拡充されているが、取組みについての市の認識は。

答 歯科保健医療推進事業などの実施主体に市町村が位置づけられたが、市町村が実施する場合は、行政機関に勤務する歯科専門職の配置が必要とされていることから、現時点で本市における実施は難しいものと捉えている。

提言 事業実施には歯科専門職の配置が条件となっており、現時点では実施が難しいとのことだが、体制整備のため、さらには部局横断的なことを行うためにも、歯科口腔保健推進体制強化事業に専門職を入れてはどうか。



佐々木勇一

議員
(市政)



肥料価格高騰の影響は？
避難指示発令時の市民の行動は？

質 肥料価格高騰の現状について伺う。

答 国際情勢の変化や急激な円安の影響で、ホクレンでは本年6月1日以降の肥料価格を前年度に比べ約8割値上げした。

質 肥料価格高騰に対する市の支援策は。

答 土壌診断に基づく施肥設計の見直しや有機質肥料の施用による土づくりなどをすすめている他、化学肥料や化学合成農薬の使用量低減を図っており、環境負荷の低減とともに生産コストの削減に寄与していると認識している。

質 避難指示発令時の市民の行動は。

答 危険な場所にいる方は必ず全員避難が必要。自宅の危険性についてはハザードマップなどで水害リスクの把握を。



稲葉 典昭

議員
(共産)



ごみ焼却場建設 30年後に胸を張れる燃やさないごみ行政への転換を

質 コロナの感染拡大の波が繰り返され、大規模な感染拡大を経験してきた。厚労省の指針による十勝で必要な検査数は実数の約6倍。後遺症に関しては5千人前後の市民が苦しんでいる計算になる。実態調査と相談窓口の開設が必要では。

答 国において今後も実態調査と把握が行われていくものと認識している。

質 脱炭素社会をめざすブランドチャレンジ(世界の課題)への思いは。

答 市民・事業者と連携しながら持続可能なまちづくりをすすめていく。

提言 生ごみの資源化などで燃やすごみは現状の2、3割減量できる。燃やさないごみ行政への転換を求める。



榎山 直義

議員
(立憲)



コロナ対策徹底を
後遺症は迷わず、健康相談を！

質 コロナの後遺症は5%以上(20人に1人)と言われ、大きな懸念材料である。市の認識と市民への対応を伺う。

答 国によるとコロナの罹患後症状、いわゆる後遺症についてはいまだ不明な点が多く、大半は症状が改善または罹患前の健康状態に戻る一方で、一部の症状が遷延したり、新たに症状が出現したりする事例が一定数報告されている。健康推進課で実施している健康相談では感染から回復しても「だるさ」が残るなどの相談が寄せられることもあり、後遺症が疑われる場合には、症状に応じた医療機関への受診や保健所などへの相談を案内するなどの対応を行っている。



石橋 勝美

議員
(立憲)



「とかちマルシェ」次年度の対応
今年開催された運動会、次年度の考え

質 コロナや物価高騰の影響を受けながら開催されたとかちマルシェだが、次年度に向けた対応の考え方を伺う。

答 次年度の開催に向けては、社会情勢の変化などを勘案しながら、マルシェ運営協議会の中で対応を検討していく。

提言 物価高騰などの厳しい状況下での開催の際には、主催者側の要望への対応や支援をしっかりと行ってもらいたい。

質 今年は午前日程で行われた運動会、次年度以降の開催についての考えは。

答 アンケートを行い、土曜日の午前日程昼食なしの開催に、87%の保護者から肯定的な回答があった。基本的には今年度の開催方式を踏襲していく予定である。



鬼塚 英喜

議員
(自民)



実効性ある帯広市強靱化計画の推進

質 緊急輸送道路にある橋りょうの耐震化の現状と今後の整備の考え方は。

答 市が管理する橋りょうは3橋あり、耐震化工事は行っていないが、計画的な点検や補修は実施しており、安全性を確保している。今後も緊急輸送道路の機能維持を図っていく。

質 市の強靱化計画の中に、自衛隊体制の維持・拡充の記載があるが、市長が行った帯広駐屯地の自衛隊体制の維持・拡充に関する要望活動の内容は。

答 陸上自衛隊第5旅団並びに帯広駐屯地の体制強化などについて、帯広市と帯広商工会議所の2者により、防衛大臣などに対し要望活動を行った。



小椋 則幸

議員
(自民)



公共施設マネジメントの取り組み
帯広の森過去から現在、未来に向けて

質 公共施設の老朽化の進行で、今後とれだけの改修、更新費用がかかるのか。

答 全ての公共施設を保有し続けた場合、今後40年間に必要となる改修、更新費用は、毎年度平均で約81・6億円と推計。直近5年間に公共施設の更新や改修などに要した費用の平均の約4倍に相当する金額となっている。

質 帯広の森の造成から48年目となる今日における「利活用面での評価」を伺う。

答 森の中には様々な運動施設をはじめ、帯広の森・はぐくむなど、市民の皆さんが多様な形で森に親しめるように施設を配置することで、市民に身近な憩いや安らぎ、集いの場となっている。



今野 祐子 議員
(公明)



感染症対策と住宅補助金の活用について

質 コロナの収束が見えない中、今年の冬にはインフルエンザとの同時流行の可能性もある。市のインフルエンザ予防の基本対策を伺う。

答 予防接種法における定期接種として希望する高齢者へ予防接種を行っている他、市の独自事業で受験期を迎えた中学3年生と高校3年生の健康維持向上を目的に、接種費用の一部を助成している。

質 今後の新築やリフォームに対する補助金についての市の考え方を伺う。

答 令和5年度に住生活基本計画の見直しを予定。そうした検討の中で関係団体との意見交換などを通し、住宅施策における支援のあり方の検討をすすめていく。



木幡 裕之 議員
(自民)



食で価値をつくるまち

質 フードバレーとかちの今後の取り組みについて伺う。

答 食をまちづくりの真ん中に置き、産業はもとより教育や環境など、地域や市民の暮らしに新しい価値を作り出すことでニューステージへすすめる、地域の持続的発展につなげていく。

質 学び直しを支える環境づくりのため、帯広調理師専門学校に声掛けをしては。

答 連携について検討していきたい。

質 東京に十勝の関係人口のサードプレイスをつくる「リトルトカチプロジェクト」への市の関わり方は。

答 イベントの運営メンバーとして情報や運営補助などを担っている。



大平 亮介 議員
(共産)



旧統一教会との接点は市は関係持たない対応を

質 地方自治体や政治家が旧統一教会および関連団体と接点を持つことがさらなる被害をもたらすという指摘がされているが、市の見解は。

答 個々のケースを見ながら注意深く対応していく必要があるものと認識している。

質 ピースロードは、旧統一教会関連団体が主催しているイベント。案内があった場合は断るのか。市の今後の対応は。

答 旧統一教会の問題が社会で取り上げられる中、この行事にかかわることは市民に不安や誤解を与える恐れがあるため、今後、ピースロードへの出席やメッセージ送付はできないと認識している。



鈴木 正孝 議員
(無所属)



部活動の意義と動物園の魅力アップ

質 部活動の多くは現場の教員が指導者となっているが、負担についての認識は。

答 部活動終了時刻が勤務時間外にまで及ぶ他、大会などは週休日や祝日の開催が多く、時間外勤務の大きな要因となる。

質 今後の部活動の考え方を伺う。

答 地域移行を含めた部活動の環境整備に取り組む必要がある。生徒や保護者、関係者の理解を得ながら丁寧にする。

質 動物園の目的や目的達成の認識は。

答 種の保存に加え、情操教育や環境教育の場としての意義も大きくなっている。教育プログラムや体験機会の充実を図りながら、帯広らしい動物園づくりをすすめていく。



大林 愛慶 議員
(立憲)



「まちなか活性化」今後の方向性「大空学園」「学び育む」成果へ

質 第3期帯広市中心市街地活性化基本計画策定から2年。作成当時、コロナや藤丸閉店は予期せず、環境変化の中にあるが、まちなか活性化についての認識は。

答 物で人を集める時代から、人と人が交流し価値を生み出す時代が変わってきている。域内外の人の交流で新たな価値がつくり出されるエリアとしての可能性や地方都市の魅力の具現化が今後の中心市街地の活力づくりにとって大切になる。

質 大空学園開校から6か月。異学年交流により生まれたメリットは。

答 中学生が小学生のサポートに回る場面や小学生が中学生を尊敬のまなざしで見える場面も生まれるなどしている。



杉野 智美 議員
(共産)



自衛隊への名簿提供「提供したくない市民の権利保障を」

質 子どもの医療費助成は安心して子どもを産み育てられる環境づくりに欠かせない。国は乳幼児等に係る調査を実施しているが、15歳までが対象となっている自治体が5割以上。帯広市も年齢引き上げを検討すべきと考えるがいかがか。

答 子育て施策全体の中で優先順位を見極めながら判断していきたい。

質 今年度、18歳から32歳までの2万3千人以上のデータが自衛隊に提供された。提供されたくないという市民の権利を保障するしくみも必要。考えを伺う。

答 自衛隊への情報提供を希望されない方については資料から削除が可能かを含めて総務省、防衛省に確認したい。



石井 宏治 議員
(自民)



地域再犯防止推進計画(保護司の成り手確保)

質 保護司の現状を把握しているのか。

答 帯広地区保護司会は、市内7つの分区で構成され、定数96名に対し、現在76名が委嘱されており、市は保護司候補者検討会議に参加し、意見交換や情報共有を行っている。

質 保護司の成り手確保のため、広報紙に保護司についての紹介を掲載しては。

答 広報紙の市民(みんな)の掲示板への掲載などについて、関係団体などと調整していきたい。

提言 地域再犯防止推進計画の内容が少し物足りない。再犯防止をさらにすすめるためにも、他市で取り組んでいる実施要領の作成について検討をお願いしたい。



上野 庸介 議員
(自民)

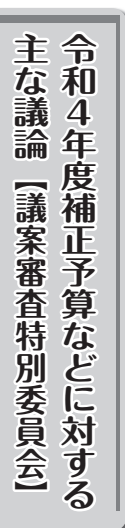


インセンティブ交付金と持続可能な介護保険事業について

質 帯広市はいわゆるインセンティブ交付金の評価点が道内主要都市と比べて低い。その要因と交付金額への影響は。

答 高齢者の自立支援、重度化防止に向けた様々な取り組みを実施しているが、通いの場への参加促進の取組みに遅れが出ていることが要因。他自治体の点数が高い場合、交付金がかかる可能性はある。

提言 インセンティブ交付金は、今後の介護保険事業の充実に欠かせない。評価点は、住民にとって安心して暮らし続けることができるかという観点から非常に興味深い数字でもある。主要都市との差が大きいことも受け止めて、市民ニーズに応える第9期計画を策定すべき。



令和4年度補正予算などに対する
主な議論【議案審査特別委員会】

暖房代支援給付金

○ 暖房費の高騰に伴い、世帯全員が75歳以上の高齢者世帯や重度障害者がいる世帯等のうち一定の所得要件を満たす世帯に対し、支援金5千円を支給することであるが、さらなる高騰などを踏まえ継続的な支援に努めるほか、対象外となっている生活保護受給者を給付対象とするべき。

バス・タクシーの運転手確保支援

○ コロナの影響などによる離職・採用難が深刻化している公共交通事業者の支援として、運転手の募集と二種免許の取得に係る費用を補助することであるが、積極的に支援を活用してもらい、公共交通サービスの維持が図られるよう、事業者に対する丁寧な制度周知に努めるべき。

水道料金の基本料金免除

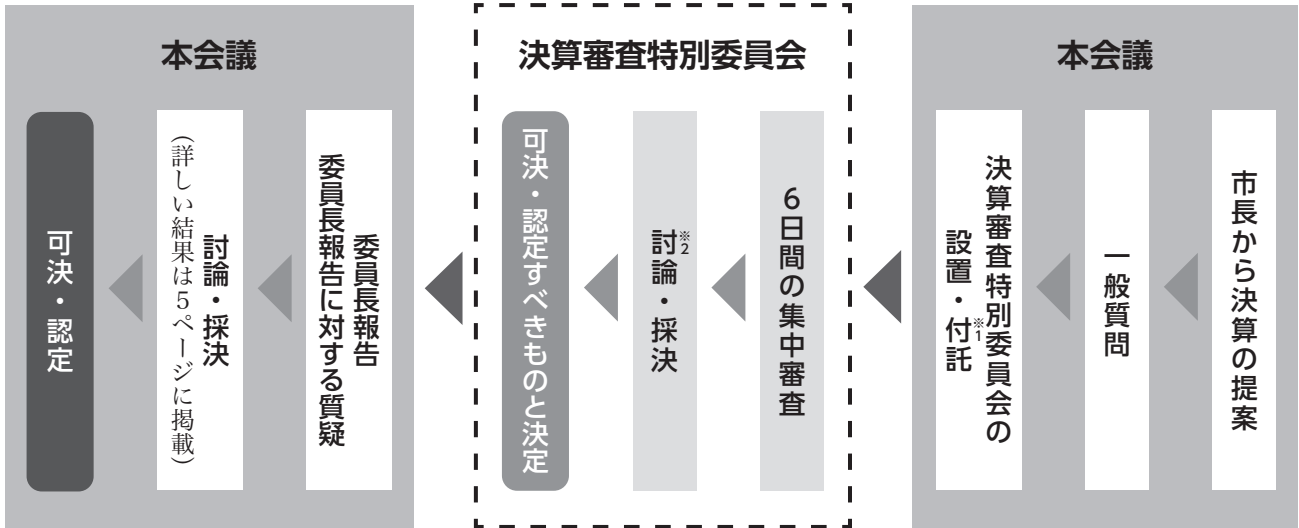
○ コロナの影響による物価の高騰などを踏まえ、水道料金の基本料金を免除することであるが、令和5年2月28日検針分までの免除であることから、市民に誤解の生じないよう免除対象期間を丁寧に周知すべき。



決算審査特別委員会の
審査概要

9月定例会では、市長から提案された各会計決算について、決算審査特別委員会を設置し、予算が効率的かつ有効に使われているかなどの審査を行いました。委員会での主な議論の概要について掲載します。

【審査の流れ】



審査1日目

わかりやすい広報

○ 市長の記者会見を動画配信しているが、耳が不自由な人のために字幕を表示するなど、合理的な配慮を求める声がある。また、市民からの意見の一部をホームページにて公表しているが、見やすい表示方法を検討するなど、多くの市民に伝わる広報に努めるべき。



避難所の備蓄品

○ 今年の3月に災害時の備蓄品を保管する拠点備蓄倉庫が新設され稼働した。既にアレルギー対応食品や生理用品などが用意されているが、避難者の多様なニーズに対応するため、引き続き備蓄品目について検討し、必要に応じて拡充すべき。



【拠点備蓄倉庫】

市職員の時間外勤務

○ 管理職も含めて、月80時間を超える時間外勤務を行っている職員も多い。コロナに関する対応により、業務が増加していることは理解するものの、市民サービスの維持・向上のためには市職員の適正な労働環境の整備も必要である。人員定数の見直しなど状況改善に努めるべき。

審査2日目

高齢者おでかけサポートバス

○ 高齢化の進行により対象者の増加が見込まれていることから、所得に応じて利用上限を設定するなど持続可能な手法を検討すべき。また、利用者の利便性向上のため、乗車証の電子化を図るべき。



介護予防・生活支援サービス等の充実

○ サービスの延べ利用者数は伸びているが、介護予防ケアマネジメント件数が減少している他、圏域ごとの利用者数に差が生じていることから、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて、市民ニーズを踏まえたサービスへの見直しに努めるべき。

犬猫の適正飼育と避妊や去勢の助成

○ 他都市では、野犬が人を襲う事例が発生しており、捨てられた畜犬が野生化していることが原因の一つと考えられる。市民が安心して生活できるよう、飼い主に対する適正飼育の周知啓発に努めるべき。また、殺処分される犬や猫を減らすため、去勢や避妊に対する助成制度を導入するべき。



審査3日目

ビスロケとかち

○ 十勝管内で就職を希望する求職者と企業を結び付けるビスロケとかちであるが、インターネットで「帯広 移住」や「帯広 就職」と検索をしても、ビスロケとかちの情報がすぐに出てこないことから、就職や移住を検討している方が容易に情報を得られる工夫を講じるべき。

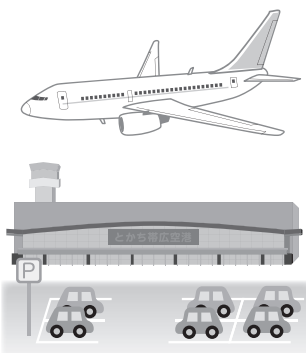
カラスの糞害対策

○ 市街地においては、カラスによる威嚇行動や糞便被害が多数出ており、市へ相談が寄せられているが、市民だけの対応では難しいことから、市としても予算を講じて対策すべき。



とかち帯広空港の駐車場整備

○ コロナの影響で、国際線旅客ビルの改修などの整備計画が後倒しとなっているが、令和6年度に供用開始予定の駐車場の整備に関しては、アフターコロナの利用者数増加を見越して、空港利用者に影響が出ないよう整備をすすめるべき。



審査4日目

ユニバーサルデザイン住宅補助金

○ 身体障害者や介護を要する高齢者の住む住宅において、段差の解消や手すりの設置などの改造を行う場合に、40万円を上限として費用を補助する「改造補助」の制度があるが、近年は利用件数が20件前後であり、ピーク時と比較して半分以下に減っている。利用が低調な要因の一つに工事の手までの手続きに時間を要することが挙げられるため、手続きの簡素化などにより利用しやすい制度となるよう見直すべき。

除雪

○ 令和3年度は除雪費に関し、2回の補正予算が計上されたが、2回目の補正後に除雪が行われていない地域も見受けられた。降雪時はパトロールなどによる路面状況の把握に努め、きめ細かい除雪を行うべき。



鍵付きマンホールぶたの整備

○ 豪雨災害時には、マンホールのふたが浮き上がり外れることで歩行者がマンホール内に落下するなどの危険性がある。

市はその対策として鍵付きマンホールぶたへの交換を平成22年度からすすめており、危機管理の点から評価するが、年間の交換数が少ないことから、効率的な交換に努めるべき。

※1 付託 → 本会議での議決の前に、議案等の検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること。
※2 討論 → 採決の前に、賛成か反対か自分の意見を述べること。意見の異なる相手を自分の意見に同調させるために行う。

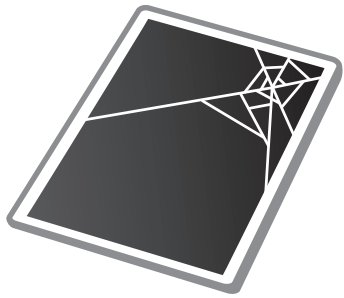
審査5日目

大会後の学校休養日数の見直し

○ 全国・全道での大会に参加した児童生徒は、風邪症状がないことに加え、PCR検査などにより陰性が確認できた場合を除き、帰着後3日間、学校への登校の自粛を求められているが、他市の状況なども踏まえ休養日数の短縮を検討すべき。

教育用タブレット端末の破損

○ タブレット端末の家庭への持ち帰りや学校での使用頻度が増えたことで、落下などによる液晶画面の破損が増加傾向にある。児童生徒の適切な端末利用に向け、学校での指導や保護者への周知を強化すべき。



審査6日目

ふるさと納税

○ 市外在住者によるふるさと納税の寄附額が順調に増加しているが、安定的な自主財源とは言い難い。令和2年度に制度が改正され、寄附控除割合が大きく増加した企業版ふるさと納税の推進にも努めるべき。

討論・採決

○ 5人が認定および賛成、1人が不認定および反対の立場で討論を実施。認定および賛成多数で、委員会として可決・認定すべきものとするよう議決を決定。

本会議での討論

要旨

不認定および反対

稲葉 典昭議員（共産）

令和3年度のコロナの感染者数は前年度の10倍だが相談件数は半減。必要な人に支援が届く仕組みづくりを。次の感染拡大に備え検査体制、相談体制の充実を。医療では子どもの保険料と医療費の無料化を。介護では保険料が普通徴収で滞納のある市民には保険料免除や執行停止でサービスの提供を。コロナ禍と物価高騰で苦しむ市民の適切な滞納処分を。ゼロカーボンを十勝全体の取組みとするため、ゼロカーボンシティ十勝の宣言を。

認定および賛成

上野 庸介議員（自民）

令和3年度決算は、実質収支は約22億5631万円。実質単年度収支も約16億2031万円と大きな黒字となった。ただ、黒字額を大きくすることが行政の使命ではない。市民にとって必要な事業、経済的な支援をもっと行えたのではないかという点をしっかりと検証した上で、今後の国や道の交付金、補助金、積み増しされた財政調整基金のあり方も含め、ポストコロナでの活力あるまちづくりに資する施策の提案を強く求めたい。

認定および賛成

大林 愛慶議員（立憲）

昨年度は、コロナ禍での「3回目の緊急事態宣言」また「まん延防止等重点措置」が北海道に発令され、コロナワクチン接種の混乱など、市民が不安を直接感じた年でもあった。そのような状況の中、安心して地域に暮らすことができる取組みをすすめてきたと考えている。今後も高齢化や地域人口減少・コロナ・物価高などに対し、適切に対応をすすめていかなくてはならない。効果的・効率的な執行を要望し賛成討論とする。

認定および賛成

西本 嘉伸議員（市政）

令和3年度決算を認定とする。現在もコロナ禍の影響が続いているが、新たな感染症対策に万全を期しつつも物価高騰対策も最重要課題と認識し、スピード感を持って適切な市政執行に徹して欲しい。また本市はゼロカーボンシティを表明した。それにもかかわらず市営住宅や公園ではいまだにほとんど水銀灯が使用され、LED化など省エネの取組みの進捗が遅れている。環境に配慮し、計画的な機器の導入や更新を行っていくべき。

認定および賛成

今野 祐子議員（公明）

令和3年度各会計決算に対し賛成の立場で討論に参加する。形式収支・実質収支ともに黒字。経常収支比率は地方交付税および地方特例交付金の増加に伴い89・8%となり、前年度と比較して1・2ポイント低下し、財政の硬直化は若干の改善。決算上の剰余金は貴重な一般財源であることから有効な活用が求められる。物価高騰などは今後も続く見込みだが、一層の良好な市民生活の維持確保に向け、安定した行財政運営を求める。

認定および賛成

稗貫 秀次議員（開政）

開政会を代表して、令和3年度決算に対し認定の立場で討論に参加する。実質収支が黒字になったこと、健全化判断比率についても早期健全化基準を下回っており、健全な財政状況を維持していることに一定の評価をする。今後も安定した財政運営に向け、事業の選択と集中を図り、一層の自主財源の確保が必要である。コロナについては、オミクロン株対応ワクチンの正しい情報提供と積極的な接種の推奨をすすめてもらいたい。

賛否の分かれた議案など

賛成・・・○ 反対・・・× その他の案件は全会一致で原案のとおり可決しました。市議会ホームページでは、すべての賛否を公開しています。



<令和4年 第5回 帯広市議会 定例会 採決結果一覧表>

自民…自由民主党帯広市議団 立憲…立憲民主・市民連合 市政…市政会 公明…公明党 共産…日本共産党帯広市議会議員団 開政…開政会

議員名等 議案名等		議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
			石橋 勝美 立憲	佐々木直美 立憲	椎名 成 公明	上野 庸介 自民	林 佳奈子 自民	小椋 則幸 自民	鬼塚 英喜 自民	大平 亮介 共産	菊地 ルツ 立憲	大林 愛慶 立憲	清水 隆吉 開政	今野 祐子 公明	大和田三朗 自民	木幡 裕之 自民	石井 宏治 自民	西本 嘉伸 市政	杉野 智美 共産	檜山 直義 立憲	鈴木 正孝 開政	稗貫 秀次 自民	清水 誠一 公明	大竹口武光 市政	大塚 徹 市政	横山 明美 市政	佐々木勇一 市政	稲葉 典昭 共産	鈴木 仁志 共産	有城 正憲
議 案 第79号	令和3年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議 案 第80号	令和3年度帯広市国民健康保険会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議 案 第81号	令和3年度帯広市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議 案 第82号	令和3年度帯広市介護保険会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議 案 第83号	令和3年度帯広市中島霊園事業会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議 案 第84号	令和3年度帯広市ばんえい競馬会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議 案 第86号	令和3年度帯広市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決 否認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議 案 第87号	令和3年度帯広市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決 否認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

常任委員会等の動き 8月～10月

重点調査項目

地方創生及び広域行政／効果的・効率的な行財政運営／地域防災

理事者報告

「8月」第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況等

質問通告

「8月」広報

付託案件

「陳情第2号」帯広市名誉市民条例制定

実地調査

10月6日に、拠点備蓄倉庫の状況について調査を行いました。



重点調査項目

保健予防・医療／子育て支援／高齢者・障害者福祉及び介護保険／市民協働及び男女共同参画

理事者報告

「8月」帯広市公立保育所の再編／帯広市パートナーシップ制度等

重点調査項目

農林業及び畜産業の振興／地元企業の活性化及び観光振興／学校教育／文化及びスポーツの振興

理事者報告

「8月」農作物の生育状況

「10月」帯広市自転車活用推進計画（骨子案）／第4次帯広市食育推進計画（骨子案）

質問通告

質問通告

「8月」消費者問題／帯広市教育委員会における後援の考え方／プラザ・エンジョイスクールの運営／電子図書館の運営

付託案件

「陳情第3号」適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書の提出

実地調査

8月25日に、学校給食センターの給食の調理状況について調査を行いました。



重点調査項目

都市計画及び地域公共交通／住まい／道路・橋りょう／みどりと環境保全／上、下水道の維持管理

理事者報告

「8月」おびひろ上下水道事業経営改善プラン（案）／北洋銀行帯広中央支店派出所の廃止

「10月」十勝圏複合事務組合における新中間処理施設の整備検討状況の報告

質問通告

「8月」建設工事における資材高騰対策

意見交換

8月16日に十勝バスとMaasの取組みなどについて意見交換を行いました。



協議事項

令和4年第5回定例会の運営／議会運営検討項目／議会基本条例に基づく取組み／閉会中における議員の辞職許可／会派届出事項変更届／新たな議会構成に伴う確認事項／令和4年第6回臨時会の運営

議会トピックス

議員政策研究会の動き ～帯広市食育推進条例の制定に向けて～

議員政策研究会では、帯広市食育推進条例の制定に向けた活動を行ってきました。これまでの取組みについてお知らせします。(令和3年10月～令和4年11月活動分)

【全体会議における中間報告①】(令和3年10月)
検討チームから条例制定によりめざす理想像とその実現に向けた中間目標を報告しました。

【条例案の協議など】(令和3年10月～)

◎ 検討チームによる条例案の検討
これまでの議論や調査研究をもとに、条例案についての協議を行ってきました。

◎ 関係団体との意見交換
検討チーム内での協議と並行し、帯広市食育推進サポーター、帯広市食生活改善推進員協議会、公益社団法人北海道栄養士会十勝支部などと意見交換を行ってきました。



【全体会議における中間報告②】(令和4年9月)
条例案の概要などについて報告しました。報告内容を一部ご紹介します。

目的

この条例は、食育の推進に関する基本理念を定め、市、市議会、市民、関係機関などの役割を明らかにするとともに、食育に関する施策の基本となる事項を定めることにより、市、市議会及び市民などが一丸となって、食育に関する取組みを推進し、もって市民が心身ともに健康で心豊かな生活を送ることができる社会の実現に寄与することを目的とする。

食育の基本理念

- ◎食育は、食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたって健全な食生活を実現することで、心身の健康の増進および豊かな人間形成に資することを基本として行う。
- ◎食育は、日常の食生活が自然の恩恵および食に関わる様々な人々の活動に支えられていることへの認識や感謝の気持ちを育むことに加え、生産から消費に至るまでの「食の循環」が環境に与える影響に関する理解を深めることにより、食品廃棄物の削減など、市民の環境に配慮した食生活などの実現に資することを基本として行う。
- ◎食育は、食に関する多様な体験機会の提供のほか、様々な活動を展開し、十勝・帯広の農畜産物および食文化などに対する市民の関心および理解を深めることにより、地産地消および食文化の継承に資することを基本として行う。

【パブリックコメントの実施】(令和4年10～11月)
令和4年10月7日～11月9日の期間でパブリックコメントを実施し、10名の方から様々なご意見をいただきました。ありがとうございました。

～令和5年3月定例会 開催予定日のお知らせ～

開催日時			会議内容
3月	1日(初日)	13時～	本会議
	2日	10時～	議案審査特別委員会
	7日、8日	10時～	代表質問
	9日、10日、13日、14日 ※9日は予備日	10時～	一般質問
	15日～17日、20日、22日～24日	10時～	予算審査特別委員会
	28日(最終日)	13時～	本会議

※日程は現時点での予定であり、変更することがあります。

- 議会は傍聴できますが、マスクの着用など、感染症対策にご協力ください。(感染症の発生状況によっては、別室モニターでご覧いただく場合があります)
- 咳などの症状がある方は、傍聴をお控えください。
- 議会の様子は、インターネットから生中継と録画映像配信を行っておりますので、市議会ホームページからご覧ください。



市議会
ホームページ



インターネット
映像配信

編集後記

朝の連続テレビ小説「舞いあがれ!」が放送中です。大空への夢を抱きパイロットをめざす物語。ロケ地にも選ばれたのが、とち予帯広空港のとなりの航空大が、とち予帯広分校です。出演者からは帯広は空気が澄んでいて見渡す限りの大自然で本当にすてきな場所になりましたとの感激の言葉が。今後の番組の成り行きに注目です。せっかくなので、帯広をどうやって売り込んでいくのか、議員にも課せられた使命でもあります。

(編集委員 西本 嘉伸)